

早島町 議会 今だより

令和3年
3月1日 第71号

委員会所管事務調査を実施	2P
常任委員会	3P
第1回モニタリング会議を開催	4P
ここが聞きたい！一般質問	5～12P
皆様からのお便り	13P
中学生からのメッセージ	14P

CONTENTS

みんな仲良し元気にジャンプ



さらに議会を活性化するために

委員会『所管事務調査』を実施

早島町議会12月定例会では人事院勧告にもとづく、給与改定（期末・勤勉手当0・05か月分の引き下げ）を含む、17議案が審議されました。
 そして今議会から、町民生活に関わる行政の諸問題について、閉会中に各常任委員会で『所管事務調査』の実施を決め、調査を行っていくこととなりました。

総務厚生常任委員会

〔地域包括支援センターの充実について〕

地域包括ケアシステムの構築、地域包括支援センターの充実、要支援者を対象とする『外出付き添い事業』等について調査を行います。

町では、介護サービス利用の相談や介護予防事業等を実施している地域包括支援センターを事務局として『外出付き添い事業』を新たに実施していこうと計画をしています。

所管事務調査を実施する中で、委員からは「民間の他団体でも類似の事業を実施しており、慎重な検討」を求める意見等が出されています。

産業文教常任委員会

〔町道整備と農業振興地域について〕

現在新設中の町道1号線や『都市計画道路駅前バイパス線』の整備、町民から多くの要望が寄せられている既存町道の補修。そして水路等の整備が課題となっている『農業振興地域』の整備事業について調査を実施する予定です。



町職員の期末手当を改定

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じて、町職員の期末手当の支給率を1・3か月から1・25か月に引き下げました。

議員報酬について

議員は職員給与とは別の制度である「報酬」として支払われており、人事院勧告をうけての改定はこれまで行われていません。

現在、全国町村議会議長会では議員報酬について処遇改善の観点から、適切な議員報酬への再検討を各町村議会に求めており、本町議会においても今後の検討課題となっています。

その他全17議案については全ての議案が全会一致で可決されました。



〔議員発議〕

●発議9号

精神障がい者と身体障がい者、知的障がい者の医療費公費負担制度の格差解消を求める意見書

提出先 衆参議院議長・国務大臣ほか

●発議10号

精神障がい者と身体障がい者、知的障がい者の医療費公費負担制度の格差解消を求める意見書

提出先 岡山県知事

●発議11号

加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的補助制度の創設に関する意見書

提出先 衆参議院議長

町選挙の選挙運動が公費負担に

総務厚生常任委員会

議案審議の主なもの

町長及び町議選挙における選挙運動の公費負担について

Q：制度の煩雑化・事務量の増加に伴う十分なサポートと相談体制は。

A：選挙前の事前説明会で十分周知していきたい。なお、選挙管理委員会内部に相談窓口を設置する。

新型コロナウイルスに感染した被保険者等の傷病手当金支給について

Q：新型コロナウイルスに感染した被保険者の方はいるのか。傷病手当金の支給を行っているのか。

A：申請はない。

Q：感染した被保険者の把握はできているのか。

A：把握していない。

Q：申請方式の制度を知らない被保険者に案内できないのか。

A：広報、ホームページ等に掲載している。今後も周知していく。

ふれあいの森公園に駐車場機器を設置

産業文教常任委員会

早島町ふれあいの森公園駐車場機器調達契約について

Q：指名競争入札に何社参加したのか。

A：3社指名し、2社が入札に参加した。

Q：予定価格は。

A：市場価格、見積額を参考にした。

Q：機器の種類は。

A：早島駅前駐車場と同機種。

Q：公園入口から駐車場間の側溝養生は。

A：年度内に蓋掛け工事を行う。

令和2年度一般会計補正予算を可決

予算審査常任委員会

議案審議の主なもの

一般会計補正予算では歳入歳出それぞれ75,873千円を追加し、総額は69億73,565千円となった。

Q：早島駅周辺拠点整備事業の繰越明許の理由は

A：ボーリング、地質調査でJＲとの調整・協議に時間を要し、年度内事業が困難となったため。

Q：新型コロナウイルスワクチン接種は強

制か

A：義務ではあるが、強制ではない。接種時期は未定。

Q：優先順は

A：国の判断となる。

Q：企業版ふるさと納税寄付金100万円の内容は

A：ソーデン社から寄付をいただき、意向に沿い公園整備事業に活用する。

Q：障害者福祉費の扶助費が59,773千円計上されているが。

A：利用人数、利用回数増加による。

早島町公共下水道事業特別会計補正予算

Q：工作物整備事業費300万円が計上されているが。

A：町内一円の汚水柵設置。14カ所整備し、残り9カ所予定している。

開かれた議会を進めていくために

第一回議会モニター会議

令和3年1月6日午後1時30分より早島町民総合会館 ゆるびの舎にて『第一回早島町議会モニター会議』を実施。活発な意見交換の場を設けることができました。今回の実施は、モニター各位から、お互いの提案・意見交換の場を設けて欲しいとのこと意見をうけてのこと。コロナ禍の中、感染予防に配慮しての開催となりました。



自己紹介と共に『開かれた議会にするためには』というテーマで意見をいただく。

【早島町議会議案第4条第5項】

議会は、町民から議会運営等に関する要望、提言その他の意見を聴取し、議会運営に反映させるため、議会モニターを設置することができる。

◆早島町議会モニター制度の発足

早島町議会では『開かれた議会』の実現を目的に、議会基本条例を平成25年に策定。平成30年9月の改選後には、さらなる議会改革をすすめるべく『議会活性化特別委員会』を立ち上げ、様々な議論を行ってきました。

そして令和元年の先進地の視察や勉強会を基に、翌令和2年、議会基本条例で定めた第4条第5項を実践すべく『早島町議会モニター設置要綱』を策定し、開かれた議会を進めていくため『議会モニター制度』を発足。

公募により10名の方をモニターに委嘱させていただきました。

◆モニターアンケートを実施

9月定例会を及び議会だよりについてモニターアンケートを実施。

その結果、定例会については、町道及び早島駅周辺整備に関する質問、小中学校の長寿命化や義務教育学校の質問、行政デジタル化の質問、新型コロナウイルス対応の質問等を評価していただいた一方、「無駄な質問で時間をとり過ぎている」「自治会レベルの質問ではなく、町全体に係わる質問をして欲しい」等のご意見をいただきました。

また『議会だより』については、概ね本文、タイトル、レイアウト他、読みやすくなったとの評価をいただいている反面、専門用語やカタカナ言葉には注釈を入れて欲しいとのこと意見もありました。

◆スタートした議会モニター制度

ともかく、一步を踏み出した『議会モニター制度』。今後も皆様からの要望、提言その他のご意見を議会運営に反映させ『住んでよかった、住み続けたい早島』を目指しますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

早島町議会モニター設置要綱



一般質問



林 郁夫 議員

問 新型コロナウイルス対策を機に各事業を積極的に見直ししては

答 経常的なものを見直し、一般行政運営費を削減していく

問 年末年始の帰省時期を迎え、更なる事態悪化が懸念される。インフルエンザとの同時流行に備えての新型コロナウイルス対策は。

答 町長 今後、新しい生活様式の定着を図りながら国、県の動向を注視し、感染リスクをしっかりと

問 感染者情報について町の対応が十分でなかったと聞いたが、マニュアルは作成しているのか。

答 町長 マニュアルはないが、感染者が出た場合には、課長会議、教育委員会、幹部職員等で内部で協議を行い、窓口の一本化に努めて

問 企業業績の悪化や個人消費の落ち込みから大幅な税収減となり、政府は21年度税額を20年度と同額に据え置き、岡山県は、21年度当初予算を20年度予算比で予算の上限を最大10%削減するシーリングを設定した。町の21年度当初予算シーリングは。

答 町長 将来、町民のためにも歳入規模に見合った歳出規模の予算を編成し、将来にわたって健全財政を保っていく。新型コロナウイルス対策に要する追加経費、年々増え続ける扶助費を踏まえ、下水道会計への法定外繰入の減額、現在の人件費や施設管理経費の削減、事業運営費の見直しはもとより、臨時的経費や新規事業

の見直しなどを念頭に収入に見合った歳出予算の編成を行う。

問 新型コロナウイルス対策を機に一般財源総額を確保し、各事業を積極的に見直ししては。

答 町長 これからは経常的なものを見直しは必要であり、一般行政運営費を削

減していかなければならない。

来年度の予算に当たっては、財政3カ年計画を今年の秋に作成し、無制限の要望ではなく、それぞれの事業をヒヤリングし、各課の全体経費を抑え再度査定し、来年度予算を作成する。



コロナ対策懸垂幕と防災無線

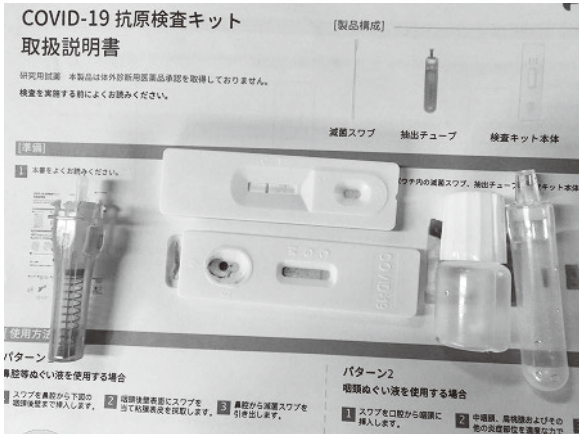




佐藤 博文 議員

問 第三次新型コロナウイルス対策は

答 今後も必要な医療・介護・生活支援に努める



個人購入した検査キット

める。

「抗原・抗体キット」等の活用について

問 抗原・抗体キット等の活用や備蓄は。

答 町長 備蓄等は県内の検査体制が拡充されたことや検査キットにより陽性と判定された場合の対応と保健所、医師会との調整等が確立されていらないので、行政として活用、備蓄は現在のところ適切ではないと考えている。

商工業者の経済活動助成について

問 第三波以降の商工業者に対する助成は。

答 町長 今後とも国や県の経済支援策の動向を注視しながら

らつくば商工会とも連携を取り、町内事業者の経済活動を後押しする本町に合った対策を講じていく。

「コミュニティーバス運用の見直しについて10年経過したバスの運用見直しは

問 現在の三路線の運用方法の見直しは。

答 まちづくり企画課長 新たな利用者獲得のため運行経路の変更やダイヤの精査も必要と考えている。

問 バスの安全を確保した上での「フリー降車」の実施は。

答 まちづくり企画課長 実証実験のスキームを確立し、地域公共交通機関に承認されれば令和3年7月頃の開始を目指す。

していきたい。
問 「バス停オーナー制度」や椅子や照明、点字時刻表の設置は。

答 町長 バス停オーナー制度は受益者負担や運行財源の問題を検討するに当たり一考に値する選択肢と考える。椅子の設置などは利便性の向上、利用者の増加につながるため、将来的には、検討していきたい。

町内の医療体制整備や感染拡大防止策は

問 第三波に対する町内の感染予防策は。

答 町長 今後も状況を注視し医療・介護・生活支援などが安定して提供されるよう医療機関等と連携し必要な支援に努

問 新型コロナから町民を守るため学校の検査拡大を求めよ

答 不安解消のため、適切な検査を要請する



真鍋 和崇 議員

問 感染拡大で不安が広がっている。命とくらしを守る先頭にたつてほしい。

小中学校で陽性者が確認された場合、同じクラスの生徒でも「濃厚接触者とならない」場合がある。

学校生活を一緒に過ごす生徒達は検査できるよう国・県に求められたい。

感染症拡大で医療現場が逼迫している。医療現場への支援を国に求めよ。

答 町長 学校はクラスターが発生しや

すい環境。不安解消のため適切な検査を要請する。

また、医療機関の経営状況を注視し、支援を要望する。

人口増に対応する学校設備の整備を

問 『学校施設等個別施設計画』は人口減少が前提の計画。

町の5〜14歳は5年前から100人も増え、今後10年で300人増加すると推計される。来年度の小学生は

23人増え、学級も増える見込みだ。

町はこれまで教室不足を放置してきた。教室整備を行わないのか。

答 教育長 義務教育学校検討会で検討する。

問 義務教育学校ありきで今の教室不足は対応できない。計画の見直しを。

答 教育長 5年ごとに見直す予定だ。
問 人口増に対応し整備しなければ教室不足がおきる。危機感を持ってほしい。

町のいずれの計画にも『義務教育学校』はない。しかし予算を使い、職員を集め義務教育学校の検討を行っている。次年度も予算を取るか。

答 教育長 次期総合計画に反映する。

問 義務教育学校ありきでなく今必要な

校舎の整備を。

町道や公共施設の整備を

問 町道・公園・町

施設で破損や維持管理の不備の指摘が増えた。町の認識は。

答 建設農林課長 計画的に事業を進める。

答 生涯学習課長 スピード感を持ち対応している。しかし破損等何

か月も放置されていたであろう箇所があった。

次（※）の提案をする。

答 副町長 生産性を上げつつ、働き方改革を実践し住民ニーズに応えられるようにしたい。

要望 道路新設、駅バリアフリー化も大切だが「他ができない」では住民理解が得られない。

※公共施設の整備についての4提案

- ①各課が報告し合う仕組みづくりを
- ②記録に残し、迅速な対応を
- ③「予算がない、担当がない、担当ではない」等と要望を放置せず担当につなげる
- ④道路維持費は4年で2割以上減額している。根拠を積み上げた予算査定を



根木 一 議員

問 災害時の安否確認用「黄色の無事ですタオル」配布を要望

答 自主防災組織が防災訓練を実施する際に使用する資機材の購入品目に追加する

問 防災・減災対策について、自主防災組織の活動で災害時に高齢者や避難擁護者などの安否確認を迅速にする必要がある。特に現在は新型コロナウイルス禍の中で在宅避難が増加すると予想されるので、災害時

答 安否確認用に自宅の玄関などに掲げて無事を知らせるための「黄色の無事ですタオル」を、その家の救助の有無を迅速に判断するため自主防災組織に配布をできないか。
町長 「黄色の無事ですタオル」は、

助したい。

認知症対策

問 認知症・高齢者が行方不明になったとき早急に発見をするため、QRコード付きのシールを認知症の方、またSOSネットワーク登録者などの希望者に配布を要望する。

答 町長 現在、行方不明になるおそれのある方の、持ち物や衣類等へ氏名、電話番号等を記載するように依頼しているが、個人情報のために抵抗がある。
衣類などに貼る2次元コードつきシールは早期発見につながり個人情報保護が可能の一つのツールだと考えている。
他市町村の導入状況や本町のGPSを

活用した位置情報探索サービスの利用状況を踏まえ、今後実施していきたい。

脱炭素社会の構築

問 住宅用スマートエネルギー導入促進補助金を今年度制定したが、予定額が6か月間で上回り受付を終了した。今後の取り組みは。

答 町長 住宅にスマートエネルギー化に資する機器等を設置購入し二酸化炭素

の排出量の削減を図った者に補助金を交付している。令和3年度以降も事業は継続する。

問 金額は倍増するのか。

答 町長 予算はこれからの段階の中で担当課がどれだけの需要を考えているのか、その辺もにらみながら考えていきたい。



黄色いタオルで災害時に無事を知らせます。

問 指定管理者制度導入の対象施設を拡大していく考えは

答 実現可能性の高いものから順次対象施設を拡大していく



細田 貴道 議員

問 以前から指定管理者制度を導入していた「いかしの舎」に続いて、本年度は「観光センター」「ふれあいの森公園」の指定管理者制度の導入が進められ、早島町の発展に向け大きな変革の年になったと感じている。

答 早島町の既存施設が民間のノウハウと活力によって生まれ変わることを期待し応援していきたい。これらは総合政策監が作成した地域再生計画「歩いて暮らせる魅力あるまちづくり」にある通り、町財政に負担をかけず、民間の力によって既存施設の魅力を高めていくという一連の流れに沿って進められているものと捉えているが、その計画の詳細と、今後の対象施設の拡大について問う。

問 町長 今年度は「観光センター」の指定管理者を公募し、11月13日にリニューアルオープンを迎えた。民間の活力とノウハウにより、これまでとは大きく異なった新たな賑わいの場となった。町も協力していく。「ふれあいの森公園」についても現在指定管理者制度の導入を目指し選定を進めている。広く民間に対してサウンディングを行い実現可能性の高いものから順次対象施設を拡大していくことで、施設の運営、維持管理にかかる費用の低減と利用者ニーズに合ったきめ細かいサービスの実施を実現してもらいたいと考えている。

答 総合政策監 この地域再生計画は、地域経済の活性化、地域における雇用機会の創出、その他の地域活力の再生を総合的かつ効果的に推進するために、地域が行う自主的かつ自立的な取組みに対し

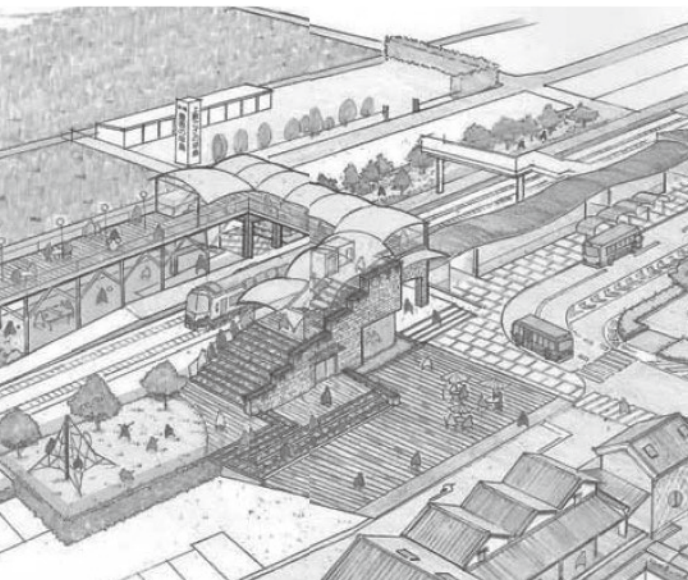


リニューアルオープンして賑わう観光センター

て国が支援を行う際に地方公共団体が作成し、内閣総理大臣が認定するものとなっている。

併せて、企業版ふるさと納税の対象とすることも可能になっている。

今後、導入施設の拡大に伴い、必要があれば地域再生計画の変更や、新たな計画の策定も可能になっている。



PFI (Private Finance Initiative): プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)とは、民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法



佐藤 智広 議員

問 地域再生計画の進捗及び今後の体制は

答 ハード及びソフト事業は肅々とすすめている。体制については後任の人材を国・県に要望

人材育成のための研修や派遣交流は

問 職員の各種研修会への参加及び企業・他官公庁への人材派遣交流はどの程度なされているか。

答 町長 採用年数や職階に応じた階層別研修、専門知識習得を目的とした職能別研修、行政課題や時事問題に対する研修の3つに区分し実施。

職員派遣については、岡山県と人事交流により中堅職員を2年間県へ派遣している。

問 PPP(公共サービスの提供に民間が参画する)により指定管理者制度の拡充をすると共に、PFIも視野に入れ民間企業との派遣・交流を考えてはどうか。

答 町長 民間への

派遣は行っていないが、民間との異業種交流を実施。またこの5年で12名の民間企業経験者を採用している。

答 総合政策監 ふれあいの森公園では指定管理者制度ではなくPFIを含め来年度からサウンディング(事業者の意見や提案の把握等し、対象事業の検討をすること)を進めていく。

地域再生計画の進捗状況は

問 JR早島駅のバリアフリー化及び地域再生計画の進捗状況を問う。

また、3月末をもって派遣期間が終了する総合政策監退任後の体制についてのどのように考えているのか。

答 町長 JR早島

駅のバリアフリー化については早々に測量・地質調査にかかると。

地域再生計画はハード事業としてふれあいの森公園の駐車ゲート整備、早島公園、山川池公園への遊具設置等。ソフト事業として町歩き観光の仕組みづくりと、これをテーマにした情報誌の発行・配布事業において業者の選考をすすめている。

また体制については事業計画を継続するため、整備計画室を存続させると共に、現在後任の人材を国・県に要望している。

その他の質問

◆ペーパーレス化の推進。

◆防災対策に関する要望。

問 議会における「説明責任」についてただす

答 行政手続法及び情報公開法の趣旨を尊重する



佐藤 辰美 議員

問 議会における自治

体職員の説明責任についてただす。

①行政手続法1条では「公正の確保・透明性の確保」。

②情報公開法1条「政府の有する、その諸活動を国民に説明する責務」。

③個人情報保護法「プライバシー・個人情報保護」。

答 町長 議会は、住民の代表である議員の皆様と、住民サービスの向上を目的とした、制度設計及び各種事業予算の審議の場である。その場で私や担当

課長から町の方針や

事業の概要を説明する場であり、一般質問についても同様の

取り扱いをしている。

答 総務課長

①その重要性から本年に要綱から条例にあらためた。

法の目的にかなうべくその向上を意図としている。

②行政情報を町民の知る権利の下、令和元年には21件の請求がありました。

問 過去の災害とコロナ禍を踏まえた防災会議についてた

だす。

①平成27年以後に発生した災害やコロナ禍を踏まえた対策について問う。

②避難所における3密対策について問う。

③インフラ「水・電気」等の対策について問う。

④救急車、消防車のすれちがいができない道幅の狭い町道の部分拡幅について問う。

⑤豪雨による、床下浸水等の箇所の原因の把握と対策について問う。

答 町長

①平成28年台風10号、平成30年6月大阪北部地震、7月の豪雨災害を受け修正。

答 総務課長

②収容人数はコロナ前の50%。
③飲料水は給水塔に

貯水したもの及び

企業との支援協定により確保。電源は24時間燃料の確保確認。

答 建設課長

④セットバック規定等地権者の理解を得るべく努力中。

⑤無津地区の水路は計画進行中。

問 令和2年3月議会での20号議案関連についてただす。

①大内田の汚水処理場の廃止情報の入手以前から、流域下水道への流下方式の効果の検討はしたのか。

②松島線の拡幅時に下水道管理設を県開発公社と契約か。

③流通ポンプ場から大内田の処理場までの揚程は何mか。

④県道松島線に下水道管を埋設する場

合最大揚程は何mか。

⑤平成28年3月に流通団地のポンプ場に6,200万円かけて整備工事を

実行しているが大内田の汚水処理廃止情報との整合性を問う。

答 上下水道課長

①していない。

②県道拡幅区間は町単独で施工する。

③41mである(ポンプ能力51m)

④不明、管敷設計画は未実施のため。

⑤岡山市との協議開始時期は平成27年3月9日で平成26年11月19日に工事に着手。



早島駅前周辺

問 次期計画の重点施策・将来ビジョンは

答 早島駅周辺の拠点化事業を目玉として整備



古田 敬司 議員

問 第4次総合計画が今年度末で終了するが、総括の全貌が未だ見えない。総合計画は自治体における全ての計画の基本となる最上位計画とうたわれており、十分すぎるほどの検証・課題の抽出を行い、将来ビジョンを明確に定める必要がある。

答 町長は次期計画について重点施策、将来ビジョンをどのよう描いているのか。また、審議会開催は当初5月予定であったがコロナの影響で3か月遅れての開催となった。計画策定に支障が出ないか危惧している。次に総合計画の構想、原案が固まった時点で従来パブリックコメントが実施されているが、途中段階で実施し、町民から幅広い意見を求めたらどうか。

問 町長 計画づくりに当たっては町民アンケートと自由意見、そして振興計画審議会のご意見を参考に策定したい。今後のまちづくりの課題としては都市計画に基づいて、役場や駅周辺を中心とした新しい市街地を形成することが重要なことだと考えている。早島駅周辺の拠点化事業についてはこれまでの約30年間にわたる事業の集大成となるよう第5次総合計画の目玉として整備していきたい。

答 また10年先を見据え、町が抱える課題解決に向け、多様な考え方を取り入れながら町民の方々と専門家の方々から成る振興計画審議会の知見を結集して、より良い計画にしていきたい。

問 これを町職員の内部評価、町民による外部評価と位置づけ、審議会での結果を基に第5次総合計画の基本方針について検討していただいている。

答 次に第5次総合計画の策定は来年度9月議会でお諮りし、その後告示、10月1日策定を予定している。

問 策定途中でのパブリックコメントの実施についてスケジュール上、可能か検討する。

答 総合計画は年度初めに示すべきでは。

問 取り組める事業は年度初めからから実施していく。

町民の皆様からのお便り

◆年賀状は元気の源

私の新年の楽しみは年賀状。SNSが普及している今、年賀状を出す人が少なくなってきたというが、私は年賀状こそ大切にしたいと思っている。

「元気にしているだろうか」「変わりはないだろうか」と相手に想いを馳せながら一文を加え、ポストへ投函、新年を待つ。そして年が明け、待ちに待った年賀状の束が届く。一枚一枚丁寧に目を通す。元氣そうで何よりだ。何度も読み返す。年に一度の年賀状での挨拶だが、実際に会って挨拶する以上に嬉しい気持ちになり、元氣ももてる。

二〇二二年、丑年。今年もたくさん年賀状からパワーをもらい、一日一日を大切にしながら元氣に過ごしていきたい。(酒本 祐子)

◆観光センターって楽しい

昨年11月に駅前の早島町観光センターがリニューアルオープンしました。以前の観光センターはちよっと地味(ゴメンナサイ)ですが、今はとても楽しい空間になっていて、美味しいものも沢山あるので、毎週のようにお買物に行っています。

卵そのもののような濃厚なプリン、早島では買えない岡山県内のこだわりの食べ物、中でも、私のお気に入りはお豆腐の「ドーナツ」、味噌漬けの「お漬物」、落合の知る人ぞ知る「羊羹」、とてもコクのある「蒜山ジャージーバター」です。有機野菜もとても美味しく、特に



ジャガイモとニンジン最高です。(それしか買ったことないんですけどね)

イベントで、たい焼きやクレール屋さんなども来て、とても新鮮です。帰りはいつも決まって、暖かいレモネードか、爽やかなレモンスカッシュを飲んで帰ります。

皆さんも一度行ってみてくださいよ。楽しいですよ

(50代女性)

投稿募集

早島町議会だよりでは、皆さんが撮影した写真やコメントの投稿を募集しています。(表紙の写真も募集しています。)

▼応募規定

- ① 町内で撮影された写真
 - ② サイズは、カラープリントの場合112Lサイズ以上、デジタルデータの場合11ファイルサイズ5MB以下(表紙の写真の場合は1200万画素以上)
 - ③ 未発表のもの
- ▼応募方法
- ① 作品(1人1点)には左記の事

項をご記入ください。

住所・氏名・作品のタイトル、コメント(50字以内)

② 郵送の場合は、返却希望の有無もご記入ください。

デジタルデータの場合は、メールに添付の上お送りください。

▼その他

① 議会だより掲載時には、作品のタイトル、住所(町名まで)、作者名を掲載させていただきます。

② 人物が特定できる場合または個人の所有物である場合は、必ずご本人の承諾を得てください。(肖像権や著作権に関して、一切の責任を負いかねます。)

③ 採用された作品の使用権は、早島町議会に帰属します。また、使用に当たり加工させていただきます。また、使用に当たりますので、ご了承ください。

また記念品等はありませんので御了承ください。

応募先：早島町前湯360の1

早島町議会事務局 議会広報宛

gikai@town.hayashima.lg.jp

コロナに負けるな!! 中学生からの緊急メッセージ

昨年12月下旬、早島中学校の代表が、防災無線で町民に向けたメッセージを
発信してくれました。



早島中学校2年生の上田
麗心です。

寒さが厳しい時期になっ
てきましたが、皆さんは、
室内の換気や手洗いうがい
などコロナ対策はきちんと
できていますでしょうか。
温かい時期と比べ、このよ

うな対策がしづらくなってきたことと思います。し
かし、このような時期だからこそ、徹底して続けて
いくことがとても大切だと思います。「自分は関係
ない」「自分は大丈夫だ」ではなく、自分自身が一
つ一つの行動に気を付けて生活していきましょう。



早島中学校2年生の山手
凌です。

いまだ感染の勢いが止ま
らない新型コロナウイルス
です。この見えないウイル
スから、感染予防策を再度
徹底しましょう。早島中学
校では、マスク着用、手指
消毒など様々な対策をして
います。感染が拡大しない
ように早島町民全員で感染
予防に努めましょう。



早島中学校2年生の小橋
みこです。

早島中学校の今年の人権
目標は「Let's accept ~心
に笑顔があふれる学校に~」
です。Acceptは、受け入れ
るという意味です。コロナ
の時代だからこそ、人々を

受け入れる心をもつべきだ
と思い、この目標にしま
した。

来年は丑年です。来年こそ
は、楽しいことでぎゅう
ぎゅうの一年になりますよ
うに、もう一度感染対策
を徹底して、新年を迎え
ましょう。



早島中学校1年生の吉沢
蒼空です。

早島町の皆さま、現在、
コロナが猛威を振るって
おり、当たり前前の日常
が戻るまでには、まだ
まだ時間がかかります。
このコロナ禍を乗り切
るには、一人一人の責
任ある行動や、手洗い
・うがいといった日々
の繰り返しが、自分や
自分の大切な人たちを
守ることへとつながっ
ていきます。「大丈夫
だろう」ではなく、「か
もしれない」という意
識を皆さんでもち、
今を乗り越えていきま
しょう。

編集後記



昨年12月の夕刻、防災無線
で4人の中学生による緊急メ
ッセージが町民に届けられま
した。現在のコロナ禍において、
どのように考え、どのように生
活していくべきかを、それぞ
れの生徒さんが思い思いの主張
してくれました。

「純粹さ」故でしょうか、皆
さんの一つ一つの言葉がしつ
かりと伝わってくる素晴らし
いスピーチでした。

「早島町民全員で」「一人一
人の責任ある行動」「自分自身
が行動に気を付ける」「大切な
人たちを守る」「人々を受け入
れる心を持つ」「皆で今を乗り
越えていく」などのキーワード
は、町民全員が共有すべき
大切な言葉です。

人生には様々な変化や、苦
境、負荷が突然目の前に現れ
ます。

それを乗り越えた強さが、
その後の人生を素晴らしいも
のにしてくれると信じています。

議会広報担当一同